

# 藤岡幸夫の クリスマス・ファンタジア



## Program

- アンダーソン：そりすべり  
 レハール：ワルツ「金と銀」 op.79  
 シューベルト：アヴェ・マリア D.839 (☆☆)  
 J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ (★)  
 J.シュトラウスII：喜歌劇「こうもり」より  
 “侯爵様、貴方のようなお方は” (☆)  
 エルガー：行進曲「威風堂々」第1番 (★)

- ドビュッシー：月の光  
 ラフマニノフ：鐘  
 チャイコフスキー：組曲「くるみ割り人形」より  
 “花のワルツ”

◆オーケストラを使った藤岡さんの解説付き!

- ストラヴィンスキー：組曲「火の鳥」(1919年版)

写真提供：  
大阪国際フェスティバル  
© 青口ミツル

【指揮】藤岡幸夫  
 【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

冬の午後、輝きに満ちた  
 サウンドに包まれるひととき…

2022. **12/24** (土) 2:00pm開演 (1:00pm開場)

ザ・シンフォニーホール

9/25(日)  
発売

A 5,500円 B 4,500円 C 3,000円 (消費税込)

主催/朝日友の会、ABCぴあ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール



【ソプラノ】熊谷綾乃 (☆)



【オルガン】片桐聖子 (★)

- アスク プレイガイド  
 06-6222-1145 [10:00~17:30(土日祝定休)]  
 ■ザ・シンフォニー チケットセンター  
 06-6453-2333 (火曜定休)  
 ■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:224-915]  
 ■ローソクチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:55074]  
 ■CNプレイガイド 0570-08-9990  
 ■E+ (イープラス) <https://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

※未就学児童のご入場はお断りいたします。  
 ※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。  
 予めご了承ください。

- ABCぴあ (webで予約・購入)  
**ABCぴあ** 検索 携帯サイトはこちら▶▶▶  
<http://abc-ticket.pia.jp/>  
 24時間・座席選択可能! 入会費・年会費無料  
 メルマガで優先予約をご案内!



お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000  
 [平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

公演情報は、〈ABCクラシックガイド〉のホームページへ  
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

- ご来場前に、体調不良 (発熱や倦怠感など) および感染症陽性の方との濃厚接触がある方は、入館をご遠慮ください。
- ご来場の際は、マスク着用の上、咳エチケット、手洗い、手指の消毒をお願いします。
- なお、入り口にて検温を実施する場合がございます。37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
- 詳しくは、〈ABCクラシックガイド〉のホームページをご確認ください。

# 冬の午後、輝きに満ちたサウンドに包まれるひととき…

ゴージャスなオーケストラときらめくソプラノ、そして荘厳なパイプオルガンの音色…、ザ・シンフォニーホールでこの上なく素敵なクリスマス・イヴをお過ごしいただくコンサートです！クリスマスの音色を響かせてくれるのは、20年以上のタッグに益々磨きがかかる藤岡幸夫さん(関西フィル首席指揮者)と関西フィルハーモニー管弦楽団。今回は、コンサート・タイトルの通り、ファンタジーあふれる楽曲の数々が皆様のクリスマス・イヴを彩ります。

前半にはクリスマス気分が盛り上がる「そりすべり」「金と銀」「威風堂々第1番」などに加え、近年、オペラの世界で抜群の飛躍を続けていらっしゃるソプラノの熊谷綾乃さんの伸びやかな歌声とパイプオルガンによる聖なるメロディー「アヴェ・マリア」を。後半、ファンタジーの世界のメインには、20世紀を代表する作曲家、ストラヴィンスキーの「火の鳥」をお届けします。藤岡さんがオーケストラで音を出しながら楽曲の聴き所をご紹介くださるコーナーも組み込み、物語が語られるように展開する「火の鳥」のカラフルな世界をたっぷりご堪能いただきます。

今年のクリスマス・イヴは、ザ・シンフォニーホールでとっておきのクリスマス・ファンタジーをどうぞ！



## 藤岡 幸夫 [指揮]

関西フィルハーモニー管弦楽団 首席指揮者

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。オペラでも2006年にブリテン「ねじの回転」、2009年にR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」を指揮したスペイン国立オヴィエド歌劇場で脚光を浴びた。2016年にはブリュッセルでA.デュメイ、V.アファシエフと共演。2017年5月にはアイルランド国立交響楽団にマーラーの第5交響曲で客演、聴衆総立ちの大成功を収めた。マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在関西フィル首席指揮者。毎年40公演以上を共演し2022年に23年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得ている。テレビ、ラジオへの出演も多く、番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30-)は放送300回を越え、2022年10月には9年目のシーズンを迎えた。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。東大阪市特別顧問。滋賀県長浜市PR大使(文化観光大使)。きょうと城陽応援大使。2019年4月、東京シティ・フィル首席客演指揮者に就任。2020年12月にはエッセイ集『音楽はお好きですか?』(敬文舎)を、2021年12月には『続・音楽はお好きですか?』を刊行。2021年9月、CD『シベリウス交響曲全集』(ALM RECORDS)をリリース。

公式ファンサイト <https://www.fujioka-sachio.com/> Twitterアカウント @sacchiyo608



## 熊谷 綾乃 [ソプラノ]

同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。奨励生として関西二期会オペラ研修所でさらに研鑽を積む。オペラでは「ドン・ジョヴァンニ」「ツェルリーナ」「魔笛」パパゲーナ、「愛の妙薬」アディーナ、「ランメルモールのルチア」ルチア、「魔弾の射手」エンヒェン、「ファルスタッフ」ナンネッタ、「つばめ」

リゼット、「こうもり」アデーレ等を演じる。京都芸術祭音楽部門第26回新人賞、第32回京都市長賞、令和3年度文化庁芸術祭新人賞受賞。声楽を木川田温子、谷村由美子、島崎智子の各氏に師事。びわ湖ホール声楽アンサンブル所属、関西二期会準会員。



## 片桐 聖子 [オルガン]

神戸女学院大学音楽学部オルガン専攻卒業。同大学音楽専攻科修了。井上圭子氏に師事。ニュージーランド響、日本センチュリー響、大阪フィル、関西フィル、大阪交響楽団等と共演の他、NHKの音楽番組にて平井堅氏と共演するなどTVにも出演。現在、神戸女学院オルガニスト。神戸女学院めぐみ会音楽教室講師。日本キリスト教団仁川教会

および神戸教会オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。



## 関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年発足。2018年公益財団法人化。2020年楽団創立50周年。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年より桂冠名誉指揮者に就任。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。BSテレビ東京の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30~)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」(2021年1月23日ザ・シンフォニーホール)が、2021年度音楽クリティック・クラブ賞を受賞。

オフィシャル・ホームページ <https://www.kansaiphil.jp/>